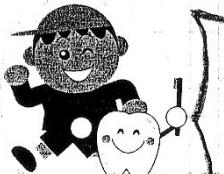


モリモリ

第56号
2009.5.1発行
医療法人
盛島歯科医院



知覚過敏とは…

DH.志場純奈

むし歯でもないのに冷たい物を飲んだり、ハブラシがあたると歯がしみるという症状の多くは、知覚過敏と考えられます。

むし歯ではないのになぜ歯がしみるのでしょうか？（図）

歯の一番外側にある「エナメル質」。

エナメル質は非常に硬く知覚がほとんどない組織です。しかし、エナメル質が傷つき削れるとその下にある「象牙質」が露出します。この象牙質に刺激がかわった際に「歯がしみる」といった症状が現れます。では、なぜエナメル質が傷つき削れてしまうのでしょうか？

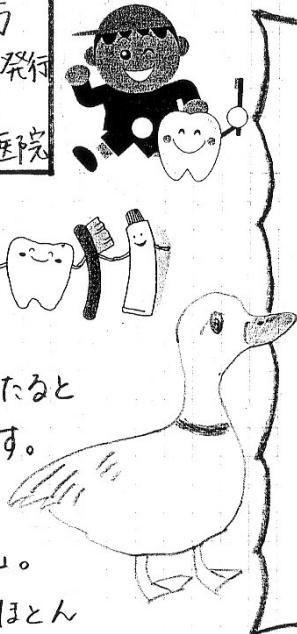
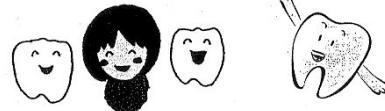
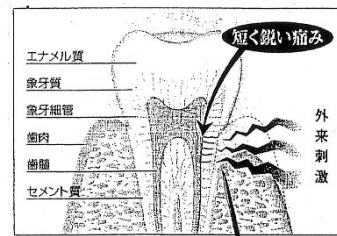
原因は1つではなく以下のような様々なことが考えられます。

★ 不適切な歯磨き…ハブラシでゴシゴシと強く歯磨きを続けた結果、エナメル質が傷つき削れてしまうことがあります。

★ 歯ぎしり・咬み合わせ…直接エナメル質同士をすりあわせる歯ぎしりは、エナメル質が削れたり割れる大きな要因になります。咬み合わせも同様、過大な力が加わる為、傷つけてしまうことがあります。

★ 歯肉退縮…歯周病や加齢により歯肉が下がり、その結果、象牙質が露出し、知覚過敏の症状が出やすくなります。

知覚過敏で歯がしみると、ブラッシングが滞りがちになり、むし歯や歯周病を誘発することになるので、早目にケアしましょう!!



知覚過敏になってしまったら…

DH.太田祥子

症状が軽ければ「知覚過敏用の歯みがき粉」を使用するだけで、改善、解消されることもあります。

1~2週間使用後も効果がない場合は歯科医の診察を受けましょう。

歯がしみる症状を抑える薬の塗布やレジン(樹脂)・歯科用セメントなど、コーティング材の使用、レーザー照射などの治療法があります。

症状や経過により、効果的な治療を行っていきます。

